

開設科目名	科目：空間計画のための自然環境科学										担当教員：宮城俊作							
開 講 期	前期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	1 回生			科目番号：065470														
授業の概要	グローバルスケールの環境問題に対応するためには、住環境の計画、設計、施工、管理の各段階において、自然環境のもつポテンシャルを最大限に活かすことによって、環境負荷を軽減することが求められる。この授業では、都市の空間計画や居住環境計画、景観設計などのプロセスにおいて配慮すべき自然環境の様々な要素とそれらの相互関係について講述し、併せて具体的な事例を紹介する。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	①住環境の形成に関与する自然環境の要素に関する知識と理解を深める。 ②様々な自然環境要素の相互関係を理解し、環境を総体として捉える視点を養う。 ③住環境の計画、設計、施工、管理の各段階における自然環境の取り扱いに関する基本的な手法に関する知識と理解を深める。 ④自然環境の保全、活用に関する倫理観を醸成する。																	
	対応表	A			B		C				D			E		F		
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
		◎			○													
キーワード	自然環境、環境保全、エコロジー、自然再生、居住環境計画																	
授 業 計 画	第1回：ガイダンス・講義のシークエンス 第2回：地形学の基礎と地形図の読み方 第3回：自然災害の基礎知識 第4回：土地造成の原則と方法 第5回：淡水資源の循環と利用 第6回：地表水と降水の管理 第7回：植物の分類・分布とカタチ 第8回：植物の育成基盤としての土壌 第9回：中間試験 第10回：植生と植物群落の生態学 第11回：植物による環境調節機能 第12回：環境アセスメントのしくみ 第13回：自然再生と生物多様性の保全 第14回：都市生態系の保全と創造 第15回：期末試験																	
教 科 書	教科書は指定しないが、毎回の講義を理解するために必要な資料を配付する																	
参 考 書	鈴木隆介『建設技術者のための地形図読図入門1』古今書店 沼田真『図説・日本の植生』講談社 武内和彦『里山の環境学』東京大学出版会																	
成 績 評 価 方 法	中間試験：授業内容の理解を問う試験によって評価する（30%） 期末試験：授業内容の理解に基づき、空間計画の観点から自然環境の保全・活用に関する基本的な考え方とその表現技能を問う（70%）																	
評価割合	定期試験 （中間・ 期末試験）	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト			宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度		受 講 者 の 発 表 （プレゼン）		出 席				合 計			
	100%	%			%		%		%		%		%		100%			
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容について住環境学科のホームページを参照のこと。 オフィスアワー 毎週金曜日 16：00～18：00 E-mail：miyagi@ccnara-wu.ac.jp																	